

平成 28 年度 事 業 報 告 書

社会福祉法人 淑徳福祉会

特別養護老人ホーム淑徳共生苑
淑徳共生苑短期入所生活介護事業所
淑徳共生苑通所介護事業所
淑徳共生苑認知症対応型通所介護事業所
淑徳共生苑居宅介護支援事業所
淑徳おゆみ診療所
千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

目 次

1.	総括	1
2.	役員会開催報告	2
3.	職員配置・入退職状況	4
4.	施設内・外研修参加報告	5
5.	実習・施設見学実施報告	7
6.	年間行事及び地域交流報告	9
7.	各事業別報告	
7-1.	特別養護老人ホーム	
(1)	施設実績	11
(2)	入居者状況	12
(3)	施設相談員・介護支援専門員	16
(4)	施設看護	17
(5)	各ユニット	20
7-2.	短期入所生活介護事業所	24
7-3.	通所介護事業所・認知症対応型通所介護事業所	26
7-4.	居宅介護支援事業所	30
7-5.	淑徳おゆみ診療所	31
7-6.	千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘	32
7-7.	栄養	37
8.	各委員会・部会活動報告	40
9.	防災対策報告	46
10.	法話会活動報告	47
11.	ボランティア受入報告	50
12.	家族会実施報告	52

1. 総括

事業開始後 10 年が過ぎ、人材確保など様々な課題はあるが、全般的な運営及び事業も概ね順調に経過し、実績内容も安定している状況である。さらに事業部門のリーダーの育成と中核的な人材の成長を促し、盤石な運営体制の確立を図っていくことが重要となる。千葉市からの地域包括支援センター事業委託先も 1 カ所増え、担当地域が 2 拠点（松ヶ丘と白旗）と広がり、特に、淑徳大学の 2 か所のキャンパスエリアが担当圏域で、高齢者支援を主とした地域福祉活動の実践基盤を整えることができた。また、診療所事業の収益も安定し、地域住民に信頼される介護サービス事業所及び施設と医療機関が一体となった診療所として定着している。

施設としては、ユニットごとの生活支援と個別ケアの向上を図り、重度化・病弱化等の成果も果たすことができた。入院者数は例年とほぼ同様であったが、入院日数が若干増え、退所者も微増となっている。退所者のほとんどが看取り介護となつてるので、終末期のケア充実とご家族へのサポートなど細やかな対応が求められている。また、在宅支援関連の事業もほぼ安定した運営展開が図られており、地域に信頼を得ながら支援内容を整えて行きたい。その他の事業内容として、各現場実習等も順調に行われ、大学との相談援助実習指導業務の受託事業も円滑に実施することができた。今後も教育領域ごとの専門職養成に合わせた実習内容を工夫し、実践力を育む実習教育の拠点としての役割を果たして行く。

社会福祉法の改正に伴い法人改革に基づき組織の再編成なども行われたが、法令等に基づいて円滑に取り組むことができ、問題なく移行できた。節目の 10 年も過ぎ、これからも各事業運営の充実と人材育成など様々な課題を抱えながら、安定した事業活動を目的として取り組んで行く。さらに、大学との連携や地域の関係機関及び団体等と協力し合い、各事業活動の周知を図り、当法人として理念に基づく地域及び社会貢献を果たしていく。

施設長 林 房吉

2. 役員会開催報告

理事会開催報告

回	期日	出席理事	出席監事	報告事項及び議案
第1回	5月10日	7名	2名	第1号議案 平成27年度事業報告（案）について 第2号議案 平成27年度決算報告（案）について 第3号議案 評議員（補欠）の選任について
第2回	9月13日	7名	1名	第1号議案 平成28年度第一次補正予算（案）について 第2号議案 進入路舗装補修工事契約について 第3号議案 マットレスリース契約について 第4号議案 規程の制定について 第5号議案 社会福祉法人制度改革について
第3回	12月7日	7名	2名	第1号議案 平成28年度第二次補正予算（案）について 第2号議案 定款の変更について 第3号議案 評議員選任・解任委員会運営細則について 第4号議案 評議員選任・解任委員会の委員選任について 第5号議案 評議員選任候補者の推薦について
第4回	3月17日	7名	2名	第1号議案 平成28年度第三次補正予算（案）について 第2号議案 平成29年度事業計画（案）について 第3号議案 諸契約について 第4号議案 平成29年度当初予算（案）について 第5号議案 理事の選任について 第6号議案 定款細則（案）について 第7号議案 規程の一部改定について その他 次期評議員について

評議員会開催報告

回	期日	出席評議員	出席監事	報告事項及び議案
第1回	5月10日	14名	2名	第1号議案 平成27年度事業報告(案)について 第2号議案 平成27年度決算報告(案)について
第2回	9月13日	15名	1名	第1号議案 平成28年度第一次補正予算(案)について 第2号議案 進入路舗装修工事契約について 第3号議案 マットレスリース契約について 第4号議案 規程の制定について 第5号議案 社会福祉法人制度改革について
第3回	12月7日	15名	2名	第1号議案 平成28年度二次補正予算(案)について 第2号議案 定款の変更について 第3号議案 評議員選任・解任委員会運営細則について 第4号議案 評議員選任・解任委員会の委員選任について 第5号議案 評議員選任候補者の推薦について
第4回	3月17日	14名	1名	第1号議案 平成28年度第三次補正予算(案)について 第2号議案 平成29年度事業計画(案)について 第3号議案 諸契約について 第4号議案 平成29年度当初予算(案)について 第5号議案 理事の選任について 第6号議案 定款細則(案)について 第7号議案 規程の一部改定について その他 次期評議員について

3. 職員配置・入退職状況

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

特養（短期入所含む）入所定員 100 名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
施設長（管理者）	1	1	-
生活相談員	2	3	-
看護師	3	4	-
主任介護職員	1	1	-
介護職員	34	50	9
管理栄養士	1	1	-
介護支援専門員	1	1	-
医師	1	1	-
機能訓練指導員	1	1	-
事務長	-	1	-
事務員・庶務員	-	4	2
宿直員	-	3	3
計	45	71	14

通所（認知症対応型含む）利用定員 35 名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(2)	(2)	-
生活相談員	2	2	-
看護師	1	2	2
介護職員	5	10	5
運転手	-	3	3
計	8 (10)	17(19)	8

居宅介護支援事業所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(1)	(1)	-
主任介護支援専門員	-	1	-
介護支援専門員	1	2	1
計	1 (2)	3 (4)	1

診療所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
医師	1	2	1
看護師	-	1	1
事務員	-	2	2
放射線技師	-	1	1
薬剤師	-	2	2
計	1	9	7

あんしんケアセンター松ヶ丘

・白旗出張所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(1)	(1)	-
保健師・看護師	3	2	-
主任介護支援専門員	3	2	-
社会福祉士	3	4	-
事務員	2	2	1
介護支援専門員	-	2	1
計	11 (12)	12 (13)	2

職員入退職状況（平成 28 年度中）

職種	入職	有期↔正規雇用	退職
正規雇用職員	13	0	9
有期契約職員	8	2	9
計	21	2	18

4. 施設内・施設外研修参加報告

| 内部研修

月	日付、内容、参加人数	
4月	19日 援助者としての姿勢	34名
5月	17日 基礎介護技術「食事」	26名
	31日 はじめよう口腔ケア	20名
6月	14日 食中毒について	25名
	21日 ハンドタッチケア（職員向け）	7名
	28日 身体拘束廃止について	22名
7月	12日 基礎介護技術（排泄）	24名
	26日 水分補給について	25名
8月	16日 事故防止策について	21名
	23日 オムツについて	19名
9月	1日 口腔ケアについて	27名
	6日 感染症「インフルエンザ・ノロウイルス」について	22名
	13日 基礎介護技術「入浴」について	21名
10月	4日 権利擁護と虐待について	23名
	13日 口腔ケアについて	21名
	18日 低栄養の栄養管理	26名
11月	8日 看取りについて	31名
	15日 認知症の理解「事例検討」	26名
	22日 あんしんケアセンター松ヶ丘について	29名
12月	7日 介護用品体験会	25名
2月	7日 ハンドタッチケア	14名
	14日 基礎介護技術（トランス）	22名
	21日 認知症の方への支援	29名
	28日 苦情対応について	22名
3月	16日 薬の理解	27名
		計 566名

| 外部研修

月	日付、内容、参加人数	
5月	23~26日	千葉県高齢協認知症介護実践研修
6月	13日	千葉県高齢施設長・事務担当者研修会
	15日	内田洋行 ITソリューションズ これからの福祉セミナー2016
	20日	千葉市保健所 給食施設栄養・衛生管理研修
7月	15日	ういす総合研究所 リスクマネジメント・事故対応セミナー
8月	27~28日	大乗淑徳学園 大巌寺研修
9月	20日	千葉市社会福祉法人職員研修
10月	17日	千葉市老人福祉施設協議会 平成28年度実務者研修会
	31日	千葉市感染症予防講習会
11月	24日	千葉県高齢者虐待防止対策研修
1月	11日	千葉市社協平成28年度ケアマネジャー現任研修Ⅱ支援の経過書き方セミナー
	13日	千葉市あんしんケアセンター蘇我・松ヶ丘 高齢者虐待防止研修会
2月	3日	千葉県高齢協防火管理者研修会
	21~28日	社会福祉士実務指導者講習会
	24日	千葉県高齢協平成28年度介護職員研修会
	27日	千葉市介護予防ケアマネジメント説明会
3月	6日	千葉県高齢協平成28年度ユニットケア部会研修
		計 21名

5. 実習・見学実施報告

見学・実習（大乗淑徳学園関連）実施状況

月	日程	学部等	内容	人数
4月	1日～3月31日	大学院 総合福祉研究科	臨床心理配属実習Ⅱ	2名
5月	24日	大学院 看護研究科	「保健医療福祉学特論」施設見学 (あんしんケアセンター松ヶ丘)	2名
6月	21日	総合福祉	相談援助実習Ⅱ オリエンテーション	4名
7月	31日	総合福祉	相談援助実習Ⅱ 体験実習	4名
8月	1日～19日 1日～29日（23日間） 25日～9月6日（7日間）	総合福祉 淑徳短大 栄養学科	相談援助実習（3年生・4年生） 介護福祉士実習（2年生） 臨地実習（管理栄養士）	4名 1名 7名
10月	17日～11月31日（10日間）	総合福祉	相談援助実習（導入実習）5グループ	計99名
11月	7日～18日（8日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習）4グループ	計79名
1月	23日～2月4日（12日間） 30日～2月20日（18日間）	総合福祉 淑徳短大	相談援助実習（基礎実習）2グループ 介護福祉士実習（1年生）	計42名 1名
2月	6日～3月4日（18日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習）3グループ	計67名
3月	6～25日（18日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習）3グループ	計62名
				計374名

見学・実習（他学校・他団体）実施状況

月	日程	内容	人数
4月	15日	株式会社佐藤総合計画 施設見学	15名
	27日	華通ワールド株式会社 施設見学	7名
5月	1日	武藏大学 人間科学部 社会福祉学科 施設見学	10名
	中旬	日本福祉学院 相談援助実習 オリエンテーション	1名
	23日～7月30日（23日間）	日本福祉学院 社会福祉士通信科 相談援助実習	1名
	24日	日本駐在中国大使 施設見学・会談	6名
7月	29日	タイ王国 アチュウ・チャレムプロケット大学 施設見学	11名
8月	10日	日本福祉学院 相談援助実習 オリエンテーション	1名
9月	5日～10月3日（23日間）	日本福祉学院 社会福祉士通信科 相談援助実習	1名
	14日	帝京平成大学 看護学科3年生老年看護学見学実習	41名
10月	1日	千葉市女性活躍推進会 施設見学	6名
	3日～7日（4日間）	生実学校 職場体験	1名
	17日	中国吉林省東北師範大学人文学院 特別授業（講師）	1名
	25日	旭市明るい福祉施設をつくる運営協議会 施設見学	5名
11月	16日～17日（2日間）	千葉市立蘇我中学校 職場体験学習	2名
1月	18日～29日	千葉市立養護学校 現場実習	1名
2月	14日	鎌ヶ谷市自治会連合協議会福祉委員会 施設見学	45名
3月	7日	特別養護老人ホーム松籜の丘 施設見学	9名
			計 163名



淑徳大学 相談援助実習



淑徳大学 相談援助実習（導入実習）

6. 年間行事及び地域交流報告

月	日付	場所	行事	内容
4月	1日～ 2日 7日 22日	苑内 外出 苑内 苑内	花見月間 新任者研修 お花見 降誕会	特養・デイにてお花見のため外出 新任職員を対象とする研修 大巌寺へお花見のため外出 宗教行事及びボランティア演芸披露
	13日 29日 29日	苑内 苑内 地域	「母の日」会 家族会清掃奉仕・総会・懇談会 生実町内運動会	カーネーションプレゼントなど 特養家族会による清掃奉仕・総会・懇談会 職員が地域の催しに参加
	9日 16日 30日	苑内 地域 外出	父の日バイキング 大巌寺幼稚園・慈光保育園交流会 生実池へ外出	喫茶サイボンで居酒屋風におやつ提供 特養を園児が訪問し、遊戯などを実施 生実池へ外出し、ハスを鑑賞するなどした
	1日～ 1日 1日 8日 31日	苑内 地域 外出 苑内 苑内	七夕 第1回生浜地区地域福祉連携会議 千葉公園ハスの花見学 孟蘭盆会 納涼祭	本物の竹を用意し、苑内に短冊を設置 職員1名が出席 千葉公園にてハスの花を見学 宗教行事及びボランティア演芸披露 夏祭りを開催。家族、地域関係者など招く
8月	15日	苑内	生実町花火大会	地元花火大会を4階月影堂などから見学
9月	15日 16日 17日 18日	苑内 地域 苑内 地域	大巌寺幼稚園・慈光保育園児との交流 生実地区地域福祉連携会議 敬老会 生実地区敬老会	特養を園児が訪問し、遊戯などを実施 職員1名が出席 敬老のお祝い 職員が地域の催しに参加
	6日 8日 13日	苑内 地域 外出	運動会 生実神社祭礼前夜 湯立て式 フラワーミュージアムへ外出	おゆみホールにて運動会を開催 地域神社の祭礼 三陽メディアフラワーミュージアムへ外出
11月	3日	地域	生浜地区体育祭	職員が地域の催しに参加
2日 4日 22日 27日	苑内 苑内 苑内 苑内	成道会 家族会清掃奉仕・懇談会 クリスマス会 餅つき会	宗教行事及びボランティア演芸披露 家族会による清掃・懇談会を開催 特養・デイにてイベント開催 おゆみホールにて餅つき大会開催	
1月	1日 12日 19日 26日	苑内 苑内 苑内 外出	共生苑初詣 新春ニューアイコンサート 新年会 初詣	共生苑内での初詣を実施 淑徳大学看護栄養学部生のコーラス慰問 サイフォンにて新年会を実施 大巌寺への参拝
	3日 17日	地域 苑内	大巌寺節分会 節分・豆まき 涅槃会	施設内・外で節分行事を行う 宗教行事及びボランティア演芸披露

月	日付	場所	行事	内容
3月	1日～ 16・23日 ^{外出} 27日 ^{地域}	苑内 外出 地域	雛祭り イチゴ狩り 第2回生浜地区地域福祉連携会議	正面玄関に雛壇を設置 特養合同外出レクとしてイチゴ狩りへ 職員1名が出席

(特養ユニット毎の行事はP20～、デイサービスの行事はP29に掲載)

- ・毎週木曜：特養合同レク
- ・毎週金曜：法話会
- ・第2、4水曜：外部講師によるミュージックケア（特養・デイ）
- ・第3水曜：外部講師によるリハビリレク（特養・デイ）
- ・隔週金曜日：ボランティアによる演奏披露（特養）
- ・月2回：ボランティアによる書道教室（特養）
- ・月2回：ボランティアによる書道教室（デイ）
- ・月1回：ボランティアによる生け花教室（デイ）



お花見



節分の豆まき

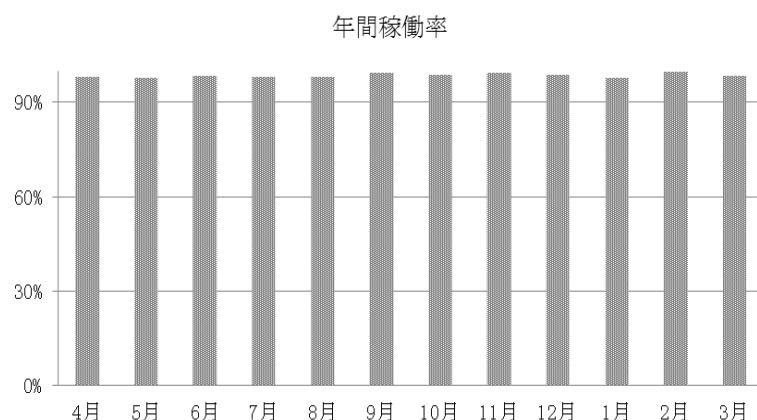
7. 各事業別報告

7-1. 特別養護老人ホーム

(1) 施設実績

年間稼働率

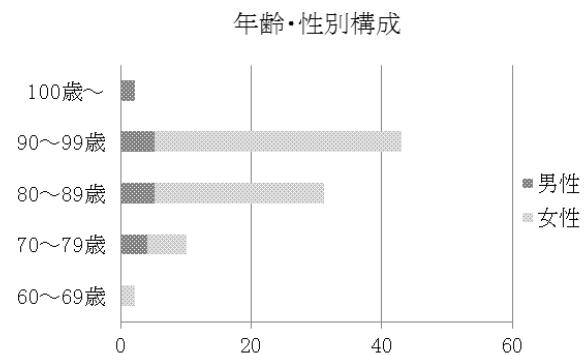
月	延べ人数						稼働率
	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4月	120	330	676	704	814	2,644	97.93%
5月	124	341	682	775	808	2,730	97.85%
6月	120	330	663	772	775	2,660	98.52%
7月	124	341	682	811	774	2,732	98.21%
8月	124	341	725	837	713	2,740	98.21%
9月	120	330	720	851	660	2,681	99.30%
10月	124	341	775	868	650	2,758	98.85%
11月	120	300	750	870	646	2,686	99.48%
12月	124	341	744	880	669	2,758	98.85%
1月	124	341	744	921	598	2,728	97.78%
2月	140	280	664	896	532	2,512	99.68%
3月	155	310	760	992	527	2,744	98.35%
月平均						98.58%	



(2) 入居者状況 (平成 29 年 3 月 31 日時点)

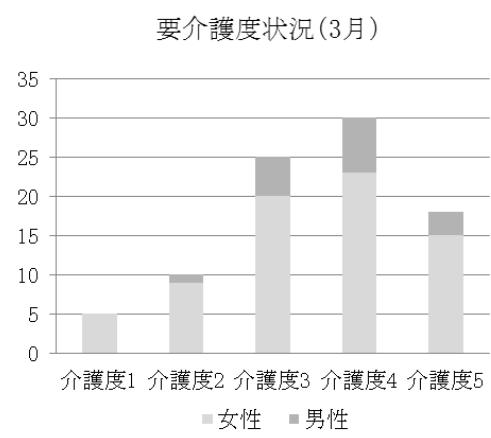
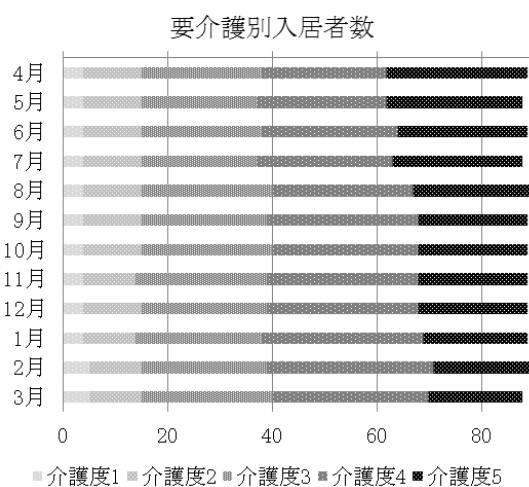
年齢・性別構成

年齢	男性	女性	計
60～69 歳	0	2	2
70～79 歳	4	6	10
80～89 歳	5	26	31
90～99 歳	5	38	43
100 歳～	2	0	2
合計	16	72	88
平均年齢	87.6 歳	88.8 歳	88.5 歳



性別・要介護度別入居者数 (数値は月末時点)

月	介護度 1		介護度 2		介護度 3		介護度 4		介護度 5		合計	平均 介護度
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
4月	0	4	2	9	2	21	5	19	6	21	89	3.66
5月	0	4	2	9	2	20	5	20	6	20	88	3.66
6月	0	4	2	9	3	20	5	21	5	20	89	3.64
7月	0	4	1	10	4	18	5	21	6	19	88	3.64
8月	0	4	1	10	5	20	6	21	5	18	90	3.60
9月	0	4	1	10	5	19	7	22	5	16	89	3.58
10月	0	4	1	10	5	20	7	21	4	17	89	3.57
11月	0	4	1	9	5	20	7	22	3	18	89	3.60
12月	0	4	1	10	5	19	8	21	2	19	89	3.58
1月	0	4	1	9	5	19	8	23	2	18	89	3.60
2月	0	5	1	9	5	19	8	24	2	17	90	3.56
3月	0	5	1	9	5	20	7	23	3	15	88	3.52

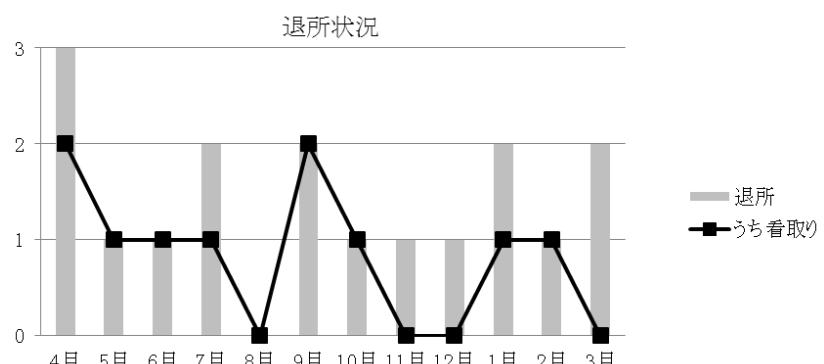
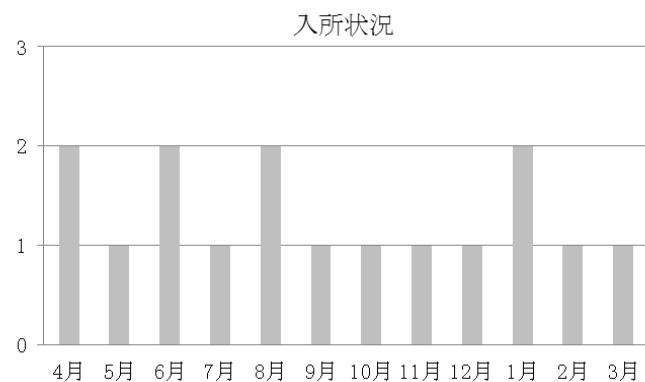


入所状況

No	日付	性別	年齢	入所前の居所
1	4月 15日	女性	97	居宅
2	4月 27日	女性	91	居宅
3	5月 24日	男性	77	老健
4	6月 9日	女性	86	在宅
5	6月 28日	男性	85	居宅
6	7月 29日	男性	80	居宅
7	8月 22日	男性	97	居宅
8	8月 30日	女性	91	居宅
9	9月 20日	男性	85	居宅
10	10月 12日	女性	72	居宅
11	11月 1日	女性	82	居宅
12	12月 20日	男性	79	居宅
13	1月 10日	女性	90	居宅
14	1月 31日	女性	92	老健
15	2月 9日	女性	87	老健
16	3月 16日	女性	87	居宅

退所状況

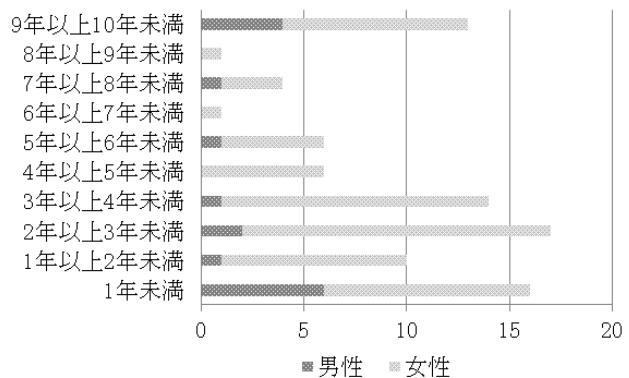
No	日付	性別	年齢	退所事由
1	4月 4日	男性	69	施設内看取り
2	4月 10日	女性	99	施設内看取り
3	4月 30日	男性	88	長期入院療養
4	5月 25日	女性	97	施設内看取り
5	6月 25日	男性	86	施設内看取り
6	7月 5日	女性	89	死亡
7	7月 27日	女性	89	施設内看取り
8	9月 5日	女性	87	施設内看取り
9	9月 25日	女性	78	施設内看取り
10	10月 10日	男性	89	施設内看取り
11	11月 16日	男性	75	長期入院療養
12	12月 18日	男性	79	病院入院中死亡
13	1月 1日	女性	95	施設内看取り
14	1月 7日	女性	90	施設内看取り
15	2月 28日	女性	84	施設内看取り
16	3月 2日	女性	73	長期入院療養
17	3月 30日	女性	87	病院入院中死亡



在苑期間

期間	男性	女性	合計
1年未満	6	10	16
1年以上2年未満	1	9	10
2年以上3年未満	2	15	17
3年以上4年未満	1	13	14
4年以上5年未満	0	6	6
5年以上6年未満	1	5	6
6年以上7年未満	0	1	1
7年以上8年未満	1	3	4
8年以上9年未満	0	1	1
9年以上10年未満	4	9	13
合計	16	72	88
平均在苑期間(年)	4.2	3.9	4.0

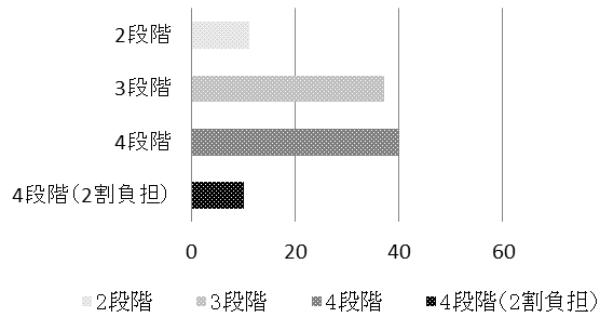
在苑期間



利用料負担段階

利用料負担段階層

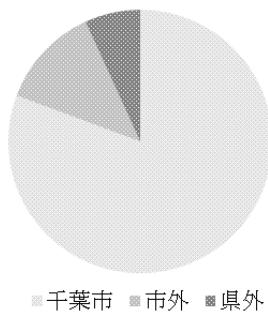
負担段階	人数	2割負担
1段階	0	0
2段階	11	0
3段階	37	0
4段階	40	(10)
合計	88	(10)



地域状況

	保険者	男	女	計
県内	千葉市中央区	10	42	52
	千葉市稲毛区	0	3	3
	千葉市若葉区	1	3	4
	千葉市緑区	1	6	7
	千葉市美浜区	0	5	5
	館山市	0	1	1
	習志野市	0	1	1
	市原市	1	4	5
	大網白里市	1	0	1
	船橋市	0	1	1
県外	旭市	0	1	1
	八千代市	0	1	1
	東京都品川区	0	1	1
	東京都渋谷区	0	1	1
	東京都練馬区	1	0	1
ふじみ野市		1	1	2
筑西市		0	1	1
合計		16	72	88

地域状況



| 外泊状況

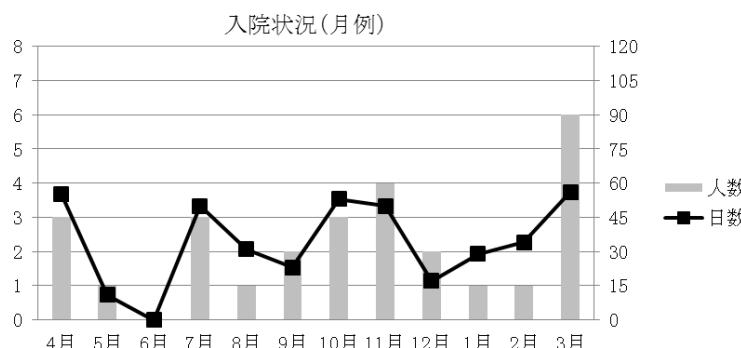
-	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	2	3	0	4	4	2	1	1	4	7	1	2	31
日数	2	6	0	16	9	1	2	1	5	12	1	2	57

| 月例別入院状況

-	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
延人数	3	1	0	3	1	2	3	4	2	1	1	6	27	2.3
延日数	55	11	0	12	31	23	53	50	17	29	34	56	409	24.1

| 入退院状況

人 数	入院日	退院日	入院 日数	要 介 護 度	性 別	年 齢	主な理由	病院	備考					
1	3月から継続	4月7日	6	5	女性	87	熱性けいれん	柏戸病院						
2	3月から継続	4月30日	30	5	男性	89	誤嚥性肺炎	柏戸病院	退所					
3	4月11日	5月12日	30	3	女性	97	肺炎	柏戸病院						
4	7月4日	9月9日	66	3	女性	92	骨折	おゆみ野中央病院						
5	7月6日	7月19日	12	5	女性	88	腸捻転	四街道徳州会病院						
6	7月20日	8月1日	11	4	女性	88	腎機能低下	ジェイコー千葉病院						
7	9月15日	11月16日	62	5	男性	76	腸閉塞	青葉病院	退所					
8	10月16日	11月7日	21	4	女性	84	胆石	千葉中央メディカルセンター						
9	10月24日	11月8日	14	5	女性	88	サブイレウス	四街道徳州会病院						
10	11月9日	12月1日	21	4	女性	87	口腔内治療	千葉県がんセンター						
11	12月9日	12月19日	9	5	女性	91	肺炎	ジェイコー千葉病院						
12	12月10日	12月18日	8	5	男性	88	重症肺炎・胸水	柏戸病院	退所(死亡)					
13	1月2日	3月2日	58	4	女性	73	肺炎・胸水	四街道徳州会病院						
14	2月22日	3月30日	35	4	女性	84	右大腿転子部骨折	千葉中央メディカルセンター						
15	3月16日	3月30日	13	2	女性	94	肺炎	三愛そが病院						
16	3月21日	来年度へ継続	10	4	女性	95	直腸癌	千葉メディカルセンター						
17	3月27日	3月30日	3	2	女性	94	乳癌	千葉県がんセンター	退所(死亡)					
計		409	一人平均入院期間 24.1 日											



| 認知症高齢者の日常生活自立度

—	人数
I	8
IIa	2
IIb	22
IIIa	8
IIIb	31
IV	15
M	2
合計	88

| オムツ使用者の実人数

—	人数
日中におけるオムツの使用者	66
夜間におけるオムツの使用者	67

| 医療的ケアが必要な入居者数

—	人数
喀痰吸引（口腔）	0
喀痰吸引（鼻腔）	0
経管栄養（胃ろうのみ）	3

（3）施設相談員・施設介護支援専門員

施設相談員報告

- ・ 入所前調査により個々の個性や生活習慣を把握し、入所後には他職種連携のもと、入居者一人ひとりの生活を尊重したケアを提供するよう努めた。
- ・ 入居者の日常において、体調変化・ドクタ一面談・苑内外受診・救急搬送などご家族との連絡・調整に努めた。
- ・ カンファレンス（担当者会議）に参加し、入居者の状態把握や家族への連絡・協力体制の整備に努めた。
- ・ 法話会をはじめユニット毎の行事や合同レク・ミュージックケア・リハビリレク・書道クラブ・ひろの会などを通し、自ら選択することや自己決定することで、自分らしく生活できるよう支援した。
- ・ 個々の生活空間である居室の整頓や、清潔で居心地のよい環境作りに努めた。
- ・ 入居者・家族からの苦情・相談に対し相談内容の把握・調査のため、共感とともに話しを一通り聴くことにより解決に繋げ、入居者・家族への処理内容の報告説明、その後の経過観察に努めた。
- ・ 入居者の1ヶ月以上の入院が見込まれる場合は一旦退所とし、退院時にはショートステイで受け入れ可能な体制をとり、次期入所のスムーズな入所を行った。
- ・ 施設での看取り介護を希望された本人・家族に対し「淑徳共生苑看取り指針」を提示し他職種同席の元、説明・同意書を取るよう日時を設定し開催した。
- ・ 苑内外研修会や勉強会を通し、専門的知識や技術のレベルアップと介護者としての資質向上に努めた。

施設介護支援専門員報告

- ・ 入所者、ご家族が共生苑での暮らしを「ご自分らしく」安心して過ごせるよう、お一人お一人に寄り添うケアマネジメントに努めた。
- ・ 特に看取りをご希望の方には、ご本人が今までに語られた「人生の過ごし方」やご家族の「思い」を大切に、最期のときまで尊厳ある時間が過ごせるようこまめにお話し（カンファレンスを含む）を伺い、また各職種とも連携を図り、状況変化に応じたマネジメントに取り組んだ。
- ・ 介護保険更新や負担限度額認定更新等の代行申請を行った。また認定調査については、保険者の依頼により、調査を実施した。
- ・ ケアプランについては、6ヵ月に1回を基本に見直し、適切なマネジメントを行う。また、入院や状態変化における見直しについても積極的に行つた。その過程では、ご本人、ご家族とのカンファレンスや他職種との連携を大切に、全職種で皆さまの生活を支えるプランニングに取り組んだ。
- ・ ミュージックケアやリハビリレク、毎週金曜日の法話会や合同レク、各ユニット主催のレクに参加し、入所者の普段とは違う一面に触れながら、「その人らしさ」をみつけられるように一緒に過ごす時間を大切にしてきた。また、ご家族とも積極的にお話しをさせて頂き、関わりを多く持てるように努めた。
- ・ 苑内外の研修に参加し、専門知識や技術の向上に努めた。

（4）施設看護

- ・ 施設での医療について、健康に生活できるレベルを保つこと、疾患に対して少しでも苦痛を取り除くことを最優先に考え、診療所医師との連携に努めた。現在、施設看護の体制の中で、糖尿病のインスリン注射管理・バルン留置（膀胱瘻含む）・胃瘻・癌治療（前立腺癌注射・癌幹部処置等・疼痛管理・CTなどの経過観察）・骨量検査・在宅酸素治療等、医師の指示のもとで看護師ができる範囲の医療を提供できている。その中でも、診療所の連携で、効果的に行えているのが、熱症状に対する対応である。診療所受診状況でもわかるように、肺炎や熱の受診が多くなっているが、そのほとんどは、ご自分の居室で内服を中心とした治療をすることができる。また、疾患の程度によっては、診療所での点滴治療が可能であり、内服と点滴療法の治療でほとんどが回復され、その結果として、入院者の人数も減少している。看護としては、介護との情報連携を円滑にし必要とされる医療を提供することで、早期治療・早期回復を可能とし、いつもの生活に早く戻していくという目標にすこしでも近づけたのではな

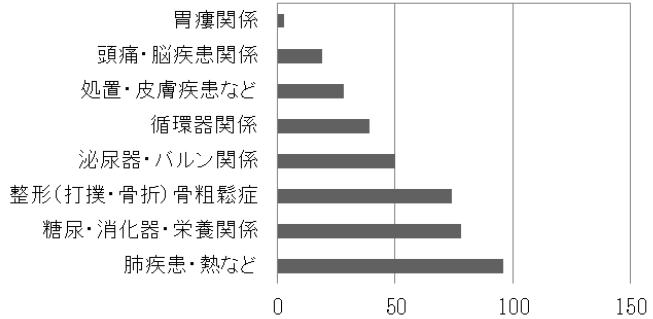
いかと思う。

- 看取りを含め、24時間（夜間オンコール）における急変者・体調不良者対応についても、日ごろの健康状態の把握・医師との連携などにより適切かつ迅速な対応に努めることが出来た。また、救急搬送・他病院受診付添い等の救命に関する体制も、命に係わる責任と認識を常に持ち、誠心誠意の気持ちで対応していった。
- さらに、より知識を深めるための研修会・勉強会の参加、他職種とのカンファレンスや家族との話し合い等、より良い対応をめざした。
- 健康診断・体重管理・薬剤管理等、定期的に実施し、健康管理に努めた。

淑徳おゆみ診療所受診状況

受診内容	受診人数 (延べ)
整形(打撲・骨折)骨粗鬆症関係	74人
肺疾患関係・熱など	96人
泌尿器・バルン関係	50人
糖尿・消化器・栄養関係	78人
循環器関係	39人
頭痛・脳疾患関係	19人
処置・皮膚疾患	28人
胃瘻関係	3人
合計	387人

淑徳おゆみ診療所受診状況



訪問歯科受診状況

月	診察回数	受診人数 (延べ)
4月	8回	43人
5月	8回	46人
6月	8回	46人
7月	9回	51人
8月	7回	46人
9月	9回	48人
10月	8回	42人
11月	9回	44人
12月	8回	41人
1月	8回	41人
2月	8回	51人
3月	9回	51人
合計	99回	550人

他医療機関受診状況

診療科	受診人数 (延べ)
内科	40人
神経内科・精神科	29人
眼科	10人
癌関係	21人
皮膚科	11人
ペースメーカー管理	5人
耳鼻科	8人
整形外科	20人
胃瘻	5人
合計	149人

Ⅰ 機能訓練計画について

- ・ 苑内集団活動リハビリとして、外部講師によるミュージックケアによる音楽療法・体操を含めたリハビリレクリエーション、アロマオイルなどを使用したハンドマッサージ、職員が担当して行う合同レク（外出レク、おやつレク、出前レク、カラオケ、季節の行事等）を毎月定期的に実施。
たくさんの方が参加できるような体制を作り、他職種連携・協力のもと、筋力低下予防や、認知面の悪化予防、生活の質の向上等をめざした。
- ・ 各ユニット内での活動として、テレビ体操の利用・歌・個別でのユニット内歩行・散歩・洗濯畳・趣味のぬり絵や折り紙等、スタッフとともにできる生活の中で多くの楽しみを作り健康増進に役立てた。
- ・ 疾患による病臥時間の長期化でも筋力低下を予防するため、口腔内の衛生（訪問歯科の利用・研修参加）、栄養管理として摂取状態や、寝たきりにしないよう努力した。
- ・ 実習生・ボランティアによるレクリエーション実施。
- ・ 来年度から専属となる P Tとの打ち合わせ参加。



ミュージックケア



リハビリレク

(5) 各ユニット

2階「古里・里山」(里山は短期入所)

今年度は職員1人1人の介護技術の向上をはかり、入居者により良い笑顔で意欲的に生活を楽しんで頂くことを目標に取り組んできたが、日々のケアに追われユニットレクの実施に至らなかった。来年度は入居者・利用者と一段と個々の信頼関係を構築できるようコミュニケーションを図り、ゆったりとした生活リズムの中で満足していただける様なレクリエーションを創意工夫し企画・実施していき、QOLの向上やリフレッシュ・笑顔につながる様なケアを行っていきたい。

| 年間行事 (全体行事はP9~に記載)

ユニット	月	行事	内容
古里・里山	4月	お花見	ドライブをしながら大巌寺へ行く
	5月	鯉のぼりツアー、母の日	女性入居者へ花のプレゼント、鯉のぼりを見に行く
	6月	シャボン玉	中庭にて皆でシャボン玉を行い、眺める
	7月	七夕 紙飛行機玉入れ	笹を飾り、短冊に願い事を書く 紙飛行機にて玉入れを行う
	8月	花火大会 うちわ作り	生実町納涼花火を鑑賞 骨組みのうちわに紙を貼り、個々に装飾をする
	9月	敬老会 芋レク	長寿の方を祝う さつまいもで団子を作る
	11月	焼き芋	合同レクで焼き芋を食べる
	12月	クリスマス会、餅つき 外出レク	入居者とクリスマスの飾りを飾る、餅つき大会に参加
	1月	初詣	合同レクで大巌寺へ初詣に行く
	2月	節分	豆まき
	3月	外出レク お雛様作り	イチゴ狩り 折り紙でお雛様作り



6月 シャボン玉



8月 うちわ作り

2階「大海・河川」

今年度はスタッフ一人ひとりが仕事に対し責任感を持ち、入居者様がその人らしく生活できるよう支援する事を目標に取り組んできた。また、入居者のケアについて

てユニット会議を通し、スタッフの意見・他職種の意見を反映し方向性を共有したケアを考え取り組んできた。新入職員の指導やチームとしてケアが向上するように情報共有にも努めた。入居者のニーズに沿った外出や昼食作り、季節感を感じて頂ける様なレクリエーションを実施することができた。来年度も引き続き実施をしていきたい。

| 年間行事（全体行事はP9～に記載）

ユニット	月	行事	内容
大海・河川	4月	お花見	合同レクで大巌寺に花見に行く。
	5月	母の日	母の日を祝う。
	6月	父の日レク 外出	合同レクで男性入居者に対し、サイフォンにて居酒屋生実池に蓮を見に行く。
	7月	七夕・買い物	短冊に願いを書く。ショッピングモールで買い物
	8月	納涼祭・花火・スイカ割り	苑内行事・4階にて生実町花火大会鑑賞
	9月	おやつレク	おやつにホットケーキを作る
	10月	買い物、ホテルバイキング	ショッピングモールで買い物、アパホテルにて昼食
	11月	寿司の出前・焼き芋・買い物	昼食に寿司の出前を取る。合同レクで焼き芋
	12月	餅つき・柚子湯・昼食レク	苑内行事・入浴時柚子を浮かべる・昼食に鍋作り。
	1月	新年会・寿司の出前	合同レクで新年会・寿司の出前。
	2月	節分・昼食レク	合同レクで節分・昼食にラーメン作り
	3月	イチゴ狩り・おやつレク	合同レクでイチゴ狩り・おやつにどら焼き作り



9月 おやつレク



11月 出前レク

3階「秀峰・野鳥」

ご入居者一人ひとりがその人らしい生活を送って頂けるようなケアを目指し、職員のスキルの向上に努めた。今季は定期的にユニット会議を行う事ができ、スタッフ間の話し合いによりケアの向上に努めた。来年度は苑内外の研修に参加し専門職としてケアの向上につなげていきたい。苑内レク、外出レクも季節に合わせたものを行い、ご入居者に大変好評であった。今後もご入居者からの要望を聞きレクリエーションの実施を行っていく。看取りケアに関しても、細かな取り組みや話し合いを重ね、看取り期から看取り後のカンファレンスまでを含め、家族とも関係を密にとり最期までの時を大切に過ごして頂けるよう、チームでのケアを目指すことができた。

| 年間行事 (全体行事は P9~に記載)

ユニット	月	ユニット内行事	外出
秀峰・野鳥	4月	桜もちづくり	お花見 (大巣寺)
	5月	母の日・菖蒲湯	鯉のぼり見学ツアーア
	6月	父の日	花の美術館
	7月	七夕	お買い物・外食
	8月	かき氷づくり	野球観戦
	9月	おはぎづくり	誕生日のお祝い
	10月	運動会	外食
	11月	鍋パーティ	お買い物・外食
	12月	クリスマス会・餅つき	苑内行事
	1月	正月行事	初詣 (千葉神社、大巣寺)
	2月	節分・スイーツパーティー	出前をとりサイフォンで食べる
	3月	雛祭り・ケーキ作り	イチゴ狩り・買い物 (外食)



恵方巻き作り



どら焼きづくり

3階「名山・野原」

今年度は、入居者様がその人らしく生活し、最後まで寄り添うことを心掛けながら、取り組んできた。ユニットトレクは、入居者様の声を反映させたものを実施することができた。四名の方の看取り介護にも携わらせていただき、お一人お一人様やご家族様から多くのことを学ばせていただいた。「その人らしさ」を大切に、最期まで過ごしていただけるよう、ご家族様や他職種と協力してケアをすることができた。次年度も入居者様の笑顔の為に、職員一人ひとりはもちろんチームケアとして更なる成長を目指していきたい。

| 年間行事 (全体行事は P9~に記載)

ユニット	月	ユニット内行事	内容
名山・野原	4月	花見	桜を見にお散歩する
	5月	母の日・昼食レク (出前)	母の日を祝う・モスバーガーを食べる (外部購入)
	6月	父の日・昼食レク	父の日を祝う・ユニットで調理 (浅漬け作り)
	7月	七夕・昼食レク	七夕飾りをする・ユニットで調理 (そうめん)
	8月	おやつレク・昼食レク	かき氷作り・サンドイッチを食べる (外部購入)
	9月	昼食レク (外出)	和食を食べに行く (とんでん)
	10月	昼食レク (外出)	ラーメンを食べに行く (イオンおゆみ野)

	11月	昼食レク (外出) (ユニット)	お寿司を食べに行く・ユニット調理 (鍋)
	12月	クリスマス	クリスマスの飾りつけ
	1月	昼食レク	ユニット調理 (鍋)
	2月	昼食レク	ユニット調理 (巻きずし)
	3月	ひなまつり	苑内の雛飾りを見に行く、お化粧をする



1月 乾杯！



3月 お散歩

4階「星空・大空」

入居者一人ひとりの気持ちに寄り添い、その人らしく穏やかな生活が送れるよう支援を行っていくことを目標に、普段の暮らしの中で入居者様の話に耳を傾け、日頃の関わりの中で笑顔で過ごせる時間が多く持てるよう努めた。

今年度も、普段の関わりの中で入居者の方やご家族のニーズを把握できるよう努め、業務の中やユニット会議などでも職員一人ひとりが意見を出し合い、入居者みなさまの笑顔のためケアの向上にも努めていきたい。

| 年間行事 (全体行事はP9~に記載)

ユニット	月	ユニット内行事	外出
星空・大空	4月	花見ドライブ	桜を見にドライブへ行く
	7月	納涼祭	入居者の交流を図る
	8月	花火 郷土料理作り	生実町納涼花火を鑑賞 郷土料理を作りながら楽しんでいただく
	9月	敬老会	苑内で行う
	10月	運動会	苑内で行う
	11月	紅葉狩り	紅葉を見にドライブへ行く
	1月	初詣 鍋レク お誕生日会	101歳のお誕生日お祝い、鍋をいただく
	3月	イチゴ狩り	外出し、イチゴ狩り



8月 郷土料理作り



11月 紅葉狩り

7-2. 短期入所者生活介護事業所（ショートステイ）

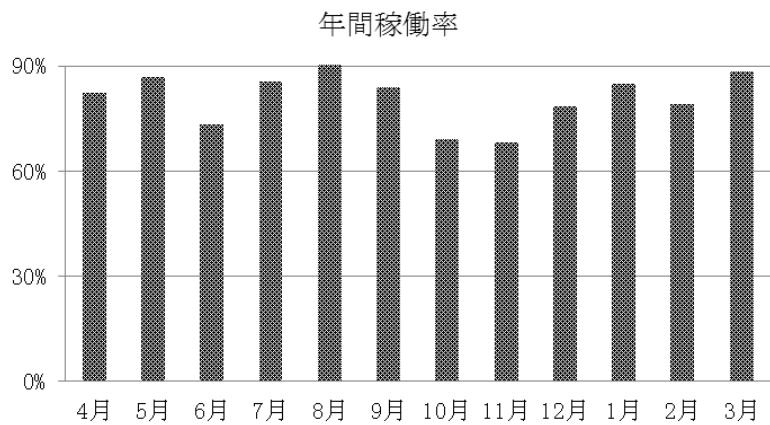
今年度も昨年度から取り組んでいた、利用者が日々穏やかに生活できる環境作りを継続的に行った。居室環境の見直し、生活の場所としてのリビングのしつらえの設定（テーブル・ソファ・テレビなどの配置の仕方）を検討し、利用者が集まり語らいながら過ごせる居場所作りに取り組み、定期的にご利用される利用者の方々は徐々に施設内の環境にも慣れてきたようであった。また、利用者一人ひとりに職員が関わることができる時間は限られているため、居室内に籠もりがちな方も極力日中はリビングで過ごしていただけよう声かけし、職員が仲介役となりレクリエーションや体操を通じ交流を図ることで全体的に見守りを行えるよう工夫した。この2点の取り組みを継続したことにより、しばらくすると利用者同士が部屋を行き来し、声をかけあいリビングで過ごす時間が増え、利用者同士の関係の構築もみられ、徐々に余暇活動を楽しむ姿が増えてきた。

今年度は、秋にかけて稼働率が低くなったことで、全体の稼働率の低下の一つとなり、平均稼働率としては、前年度に比べ微増となった。次年度も特養や他事業所ケアマネジャーとのさらなる連携を図り、急な入院、長期入所にも即座に対応できるようバランスを図りながらスケジュールを立てていきたい。

また、デイサービスとの利用者情報の共有を図り、食事・排泄・入浴などの基本的な部分で介助に変化がないように努め、次年度も利用者が穏やかに生活できる環境を考え、安全に効率よく運営できるよう取り組んでいきたい。

（1）年間稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	0	0	25	52	68	71	31	247	82.3%
5月	0	0	24	62	67	82	34	269	86.8%
6月	6	0	17	44	68	38	47	220	73.3%
7月	7	0	7	45	59	76	71	265	85.5%
8月	0	0	22	65	54	75	72	288	92.9%
9月	0	0	23	49	32	79	69	252	84.0%
10月	0	0	22	19	40	77	56	214	69.0%
11月	0	0	32	38	47	44	44	205	68.3%
12月	25	0	30	29	61	49	49	243	78.4%
1月	33	0	41	27	55	58	49	263	84.8%
2月	29	0	31	24	87	27	24	222	79.2%
3月	0	0	16	59	65	56	39	235	88.4%
月平均									81.0%



(2) 利用者状況 (平成 29 年 3 月 31 日時点)

利用者年齢・性別構成

年齢	男性	女性	合計
60~69 歳	0	0	0
70~79 歳	1	6	7
80~89 歳	2	7	9
90~99 歳	2	5	7
100 歳~	0	1	1
合計	5	19	24

利用者地域 (保険者)

地域	男性	女性	合計
中央区	4	12	16
緑区	0	2	2
若葉区	0	2	2
美浜区	1	0	1
稻毛区	0	2	2
その他	0	1	1
合計	5	19	24

性別・要介護度別利用者数

介護度	男性	女性	合計
要支援 1	1	1	2
要支援 2	0	0	0
要介護 1	0	5	5
要介護 2	0	3	3
要介護 3	3	4	7
要介護 4	1	3	4
要介護 5	0	3	3
合計	5	19	24

契約状況

月	新規	中止	中止理由	増減	継続
4月	3	0		3	46
5月	2	2	他施設入所	0	46
6月	2	1	長期入所	1	47
7月	2	1	他施設入所	1	48
8月	1	2	他施設入所	-1	47
9月	2	1	他施設入所	1	48
10月	2	1	長期入所	1	49
11月	1	1	長期入所	0	49
12月	2	1	他施設入所	1	50
1月	1	0		1	51
2月	1	0		1	52
3月	2	1	長期入所	1	53

7－3. 通所介護・認知症対応型通所介護事業所（デイサービス）

平成28年度は、例年と比較すると季節的な稼働率の変動も少なく、年間を通じて安定した運営を行うことが出来た。安定的に新規利用者を受け入れる事が出来た一方、やはり体調を崩し入院を余儀なくされるケース、または長期入院からADLが低下し在宅復帰が困難なため施設入所に至るケースなどが多かった。

新規利用者について、ここ数年で多く見られるのが高齢者二人暮らしの世帯。夫が妻を、若しくは妻が夫を介護する老老介護の相談がやはり多い。サービスを利用したい理由として、介護者の入院または病状の悪化など、状態を悪くしてからどうにもならなくなり、相談に至るケースが相変わらず多い現状が見られる。そのような状況で関わり始める家族も生活の状況を把握できず、親は変わらず元気なものとして認識するため支援が後手に回ることもあり、介入の難しさを感じる。そんな中でも徐々にサービスの幅が広がる方もあるが、介護者が倒れてしまいその後の対応に急を要する利用者の方も少なからず出てきてしまう。いつも急な環境の変化が心身に与える影響を心配してしまうが、事業者間でその状況から最善と思われる方法を検討し連携し繋いでいく他にない。施設入所などで手を離れてしまう利用者の方もあり、その後が気になってしまふが穩やかに生活されることを願うばかりである。

また、団塊の世代の利用を控える予潮として、比較的年代の若い方の利用も多くなってきているが、中でも若い職員と同じ年代の方の利用もあり、二回り以上年齢が違う利用者の中でどのように過ごして頂くべきか、受け入れ方を迷うケースもあった。稀なケースではあると思うが、今後も全くないとは限らないので良い経験として関わり方を学んでいきたい。

先日行われた生浜地区の地域福祉連携会議の中で、地域にはまだまだ潜在的に認知症の高齢者を抱える世帯が多く、地域的な性質からか表に出すことを恥じと考え隠している家庭が多いという問題が議題として語られた。民生委員や社会福祉協議会、各事業者と地域住民が連携し、どのように介入していくべきか？を検討していきたい。

平成29年度は総合事業も絡み、年度初めから慌ただしい状況が予想されるが、ひとつひとつ準備を進めていきたい。

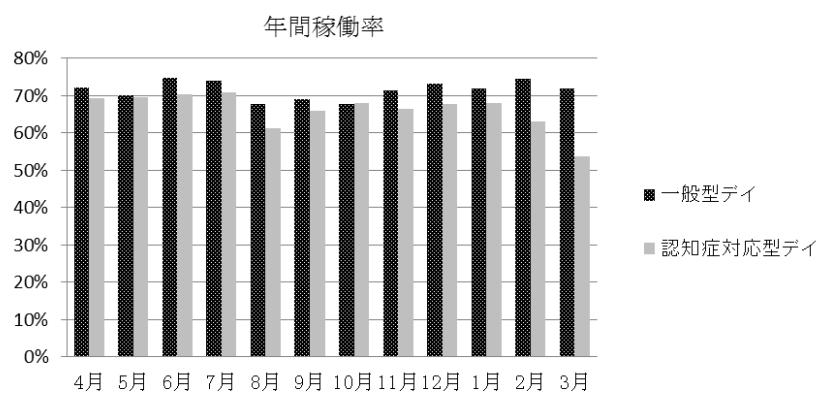
(1) 年間稼働率

一般型デイサービス稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	4	29	151	192	59	35	0	470	72.31%
5月	4	22	147	213	41	29	0	456	70.15%
6月	9	27	156	191	73	31	0	487	74.92%
7月	4	36	159	188	62	32	0	481	74.00%
8月	3	33	143	207	43	29	0	458	67.85%
9月	3	42	133	197	49	25	0	449	69.08%
10月	8	41	129	200	37	26	0	441	67.85%
11月	10	42	134	194	50	34	0	464	71.38%
12月	7	42	128	186	56	39	0	458	73.28%
1月	3	39	131	173	54	31	0	431	71.83%
2月	0	40	152	173	54	28	0	447	74.50%
3月	0	40	152	187	74	32	0	485	71.85%
月平均									71.55%

認知症対応型デイサービス稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	0	0	12	1	46	37	84	180	69.23%
5月	0	0	0	3	44	53	81	181	69.62%
6月	0	0	0	1	46	55	81	183	70.38%
7月	0	0	0	3	44	53	84	184	70.77%
8月	0	0	4	4	46	33	78	165	61.11%
9月	0	0	0	12	52	32	75	171	65.77%
10月	0	0	0	13	58	33	73	177	68.08%
11月	0	0	0	13	55	31	74	173	66.54%
12月	0	0	0	13	56	32	68	169	67.60%
1月	0	0	0	11	56	6	90	163	67.92%
2月	0	0	0	12	39	6	94	151	62.92%
3月	0	0	0	12	28	6	99	145	53.70%
月平均									66.08%



(2) 利用者状況 (平成 29 年 3 月 31 日時点)

| 契約状況

月	一般型デイ					認知症対応型デイ						
	新規	中止	中止理由		増減	継続	新規	中止	中止理由		増減	継続
4月	2	1	入院1		1	50	0	0	入所1	死亡1	0	13
5月	0	1	入院1		-1	49	0	0			0	13
6月	4	1	入院1		3	52	0	0			0	13
7月	0	1	体調不良1		-1	51	0	2	入所1	死亡1	-2	11
8月	0	3	入所1	入院2	-3	48	1	0			1	12
9月	2	0			2	50	0	0			0	12
10月	1	3	入所2	自己都合1	-2	48	0	0			0	12
11月	3	3	入所2	自己都合1	0	48	0	0			0	12
12月	3	1	入院1		2	50	0	0			0	12
1月	1	2	入院2		1	51	0	0			0	12
2月	3	3	入院3		0	51	0	0			0	12
3月	2	3	死亡1	入院1	-1	50	0	1	入院1		-1	11

| 要介護度別利用者

要介護度	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
要支援1	1	0	0	0
要支援2	1	3	0	0
要介護1	1	15	1	0
要介護2	3	14	1	0
要介護3	4	5	0	2
要介護4	1	2	2	1
要介護5	0	0	2	5
合計	11	39	6	8

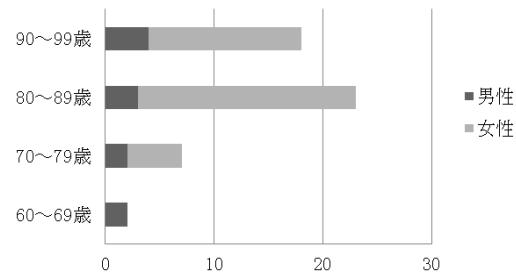
| 利用者地域 (保険者)

地域	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
中央区	10	35	6	5
緑区	0	2	0	2
若葉区	1	2	0	1
その他	0	0	0	0
合計	11	39	6	8

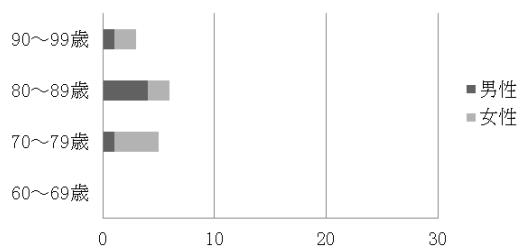
| 利用者年齢・性別構成

年齢	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
60～69歳	2	0	0	0
70～79歳	2	5	1	4
80～89歳	3	20	4	2
90～99歳	4	14	1	2
100歳～	0	0	0	0
合計	11	39	6	8

一般型 デイ利用者 年齢構成



認知症対応型 デイ利用者 年齢構成



(3) 年間レクリエーション

月	行事
4月	お花見ドライブ、この街ファーザーズ、クレープ作り、生実町慰問
5月	菖蒲湯、歌謡ショー、天父報恩鼓（琉球太鼓）
6月	シルバームーン（カラオケ）、父の日バイキング、梅ジュース作り
7月	南米音楽会、おやつレク（あんみつ）、七夕飾り作り
8月	バーベキュー、かき氷
9月	敬老会
10月	デイ運動会、やまぼうし（口笛奏者）
11月	文化祭、たこ焼き作り、生実町婦人会
12月	鍋パーティ、焼き芋、南米音楽会、紅白歌合戦、餅つき会
1月	お屠蘇、新年会、鍋パーティ、シルバームーン（カラオケ）
2月	節分・豆まき、チョコレートフォンデュ、握り寿司
3月	クレープ作り、シルバームーン（カラオケ）

回数

月	おやつ	昼食	ミュージックケア	書道	生花	苑内レク	外出レク	合計
4月	3	3		1	1	2	4	14
5月	0	2		1	1	3	0	7
6月	1	3		1	1	3	0	9
7月	3	3		1	0	2	0	9
8月	6	2		0	0	1	0	9
9月	0	2		1	1	1	0	5
10月	0	3		1	1	2	0	7
11月	3	3		1	1	8	0	16
12月	3	3		1	1	3	0	11
1月	5	3		1	1	2	0	12
2月	3	3		1	1	1	0	9
3月	3	3		1	1	1	0	9
合計	30	33		11	10	29	4	117



この街ファーザーズ



運動会



たこ焼き作り

7-4. 居宅介護支援事業所

平成28年度は4月以降、常勤2名・非常勤1名体制で事業を行いましたが、人事異動により、6月から11月までは常勤1名・非常勤1名で行なってきた。11月より常勤2名・非常勤1名となった。

今年度もそれぞれ事情をお持ちで在宅生活をされている方の相談をお受けした。急遽支援が必要になった方や病状悪化の方を担当することが多い状況が続いている。不安を共に背負い、これから起こる状況を予測しつつ、その状況に備えて、必要な手立てを整える為に努力してきた。

地域住民やサービス事業所、地域包括支援センター、行政と共に利用者の支援を行なっていく事がさらに必要不可欠な状況となっている。

(1) 実績

月	職員数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	3	3	6	26	10	14	6	8	73
5月	3	4	6	26	11	11	7	6	70
6月	2	2	6	24	11	12	7	6	68
7月	2	1	6	23	13	12	7	6	68
8月	2	1	6	24	13	10	8	6	68
9月	2	1	6	23	13	9	8	6	66
10月	2	1	7	17	13	7	8	5	58
11月	3	1	7	18	14	8	7	7	62
12月	3	1	7	20	13	7	8	7	63
1月	3	1	7	20	13	7	8	7	63
2月	3	1	8	19	12	5	9	7	61
3月	3	5	7	21	12	6	5	7	63
									月平均 65.3 件

(2) 登録者状況（平成29年3月31日時点）

登録者数

性別	予防給付	介護給付	合計
男性	2	15	17
女性	10	39	49
合計	12	54	66

登録者世帯状況

世帯	人数
独居	38
夫婦	14
子ども世帯同居	14
他親族同居	0
合計	66

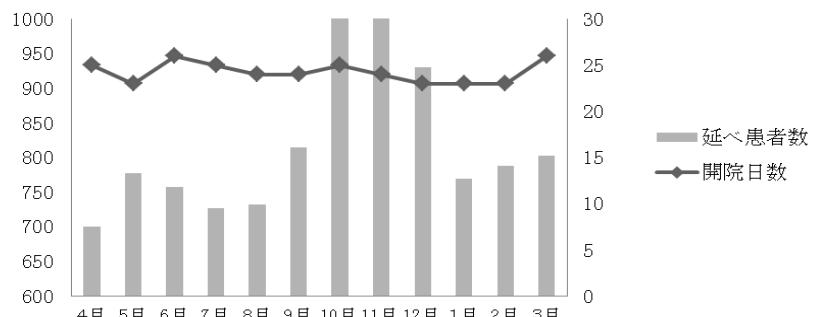
7-5. 淑徳おゆみ診療所

平成29年度の新患登録数は513名であった。入居者ご家族や近隣の方々のご利用だけでなく、泌尿器科を求めて遠方より来て下さる方も年々増加傾向である。

実績報告

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開院日数		25	23	26	25	24	24	25	24	23	23	23	26	291
延べ患者数		700	777	757	727	732	815	1,049	1,078	930	769	788	803	9,925
	内健診 (入居者含む)	91	15	105	25	49	29	332	154	105	36	31	12	1,200
内 入居者	診察	62	48	49	53	71	129	43	49	47	38	69	65	723
	処方	287	292	281	274	263	258	296	297	296	295	297	300	3,436

月別 延べ患者数



主な出来事

4月	入居者定期健康診断
6月	保育園・幼稚園児健康診断
7月	職員健康診断
8月	大巖寺幼稚園職員健康診断
10月～12月	慈光保育園職員健康診断
12月	インフルエンザ予防接種
4月～翌年3月	職員健康診断(夜勤者)
5月～翌年2月	肺炎球菌予防接種(定期接種・市独自事業)
他	千葉市特定健診・がん検診

7-6. 千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

平成28年度は『地域包括ケアシステムの構築』に向けて柱となる多職種協働による連携体制作りに継続して取り組んだ。多職種連携会議への参加、自主活動組織の立上げ支援、地区社協、連協、民生委員との連携、地域の会議へ積極的に参加し、連携体制強化に努めた。

様々な課題を抱えた地域住民の相談に対応し、医療、介護、住まい及び生活支援サービスを継続して提供できる地域のネットワークづくりに重点をおき、前年度に引き続き、地域住民による自主活動の立ち上げに携わった。

千葉市あんしんケアセンターの運営委託法人となるために書類審査、ヒアリングを経て、中央4圏域を受託することになった。

| 総合相談支援業務・権利擁護業務について

相談経路として親族、民生委員からの相談、医療機関、行政からの紹介が多くあった。来所相談も多かった。

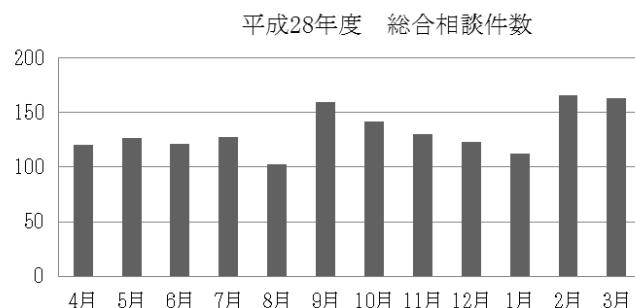
相談内容としては、昨年同様、介護保険制度・サービスに関することが多く、申請代行、退院後の生活支援は多数の相談があった。認知症に関しては認知症初期集中支援チームに年間を通して関わっていただいた。認知症ケアパスの活用で、認知症の方とその家族への支援の手掛かりにしていただきたい。圏域内の中学校1年生を対象にキッズサポートー養成講座を開催。若い頃から認知症について考え、地域で支えていくという礎を築いている。経済的困窮者に対して社会援護課との連携を密にとり携わさせていただいた。また、ご利用者自身または家族が精神疾患のある方からの相談も多く、複合的な問題を有する方の生活支援が増加している。

権利擁護については、総合相談でのスクリーニング、消費者被害や成年後見制度についての講座を開催し、制度の普及啓発に努めた。虐待に関する相談は25件、成年後見制度の相談は34件。センター内の情報共有やカンファレンス、高齢障害支援課と連携を密にとり対応をした。

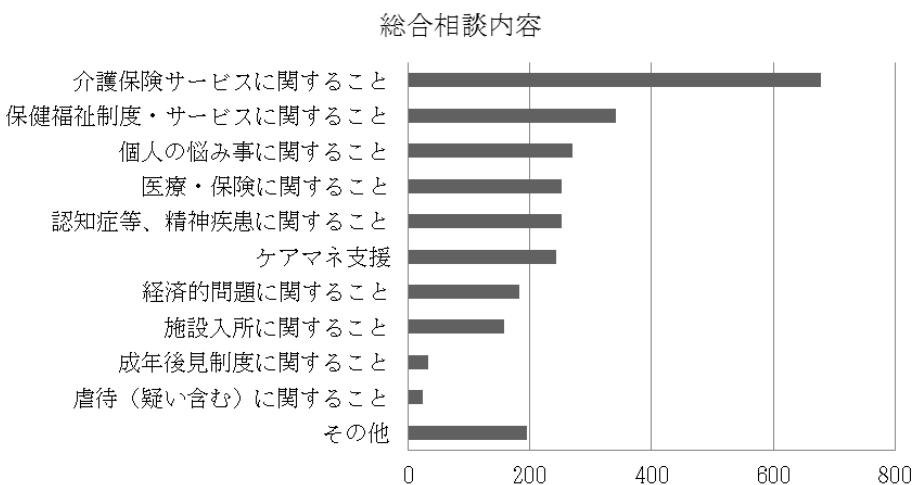
相談は受付票、支援経過に記録。状況に応じて訪問、実態把握に努めた。台帳をもとに月1回の会議を開催し、計画的支援と状況に合わせた迅速な対応を行った。

総合相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	120	127	121	128	103	160	142	130	123	112	166	163	1,733



相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険サービスに関すること	40	62	46	49	47	83	66	68	64	32	53	69	679
施設入所に関すること	3	4	10	11	13	13	21	17	29	14	10	14	159
経済的問題に関すること	5	7	10	15	22	9	20	21	24	20	11	19	183
医療・保険に関すること	9	18	16	23	34	19	24	23	31	16	24	16	253
認知症等、精神疾患に関すること	7	14	16	23	18	20	33	16	36	19	32	18	252
成年後見制度に関すること	4	0	3	4	2	1	1	2	5	7	4	1	34
虐待（疑い含む）に関すること	5	1	1	1	2	2	0	0	2	3	3	5	25
保健福祉制度・サービスに関すること	14	23	38	21	27	17	26	21	48	36	27	43	341
個人の悩み事に関すること	6	12	14	20	20	15	28	28	37	27	32	31	270
ケアマネ支援	14	7	22	26	16	18	20	17	33	14	9	48	244
その他	20	26	6	7	26	9	23	12	9	10	2	46	196
合計	127	174	182	200	227	206	262	225	318	198	207	310	2,636



| 介護予防ケアマネジメント業務

高齢者が「要介護状態になることを出来る限り防ぐ」「要介護状態になってもそれ以上悪化させないようにする」ために、高齢者自身が地域における自立した日常生活を送れるよう目標を設定し、適切に評価できるよう努めた。

| 指定介護予防支援事業 契約数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総数	291	300	305	315	311	316	322	324	314	305	305	303	3,711
委託	210	218	224	238	232	234	244	247	236	232	234	232	2,781
直営	81	82	81	77	79	82	78	77	78	73	71	71	930

| 介護予防普及啓発事業および地域介護予防活動支援事業について

地域の特性や社会資源を把握し住民主体の通いの場や自主的活動支援に取り組んだ。自らのセルフケアの推進、閉じこもり防止、自主活動グループのリーダー育成に取り組んだ。



クラフト教室・ペン立て



クラフト教室・作業風景



クラフト教室・タオルかけ

| 介護予防普及啓発事業

回数及び参加人数	講演会・教室・ミニ講座等	相談会等	イベント等	その他	合計
開催回数 (回)	7	0	9	13	29
参加延人数 (人)	371	0	221	411	1,003

| 地域介護予防活動支援事業

回数及び参加人数	地域活動組織への支援・協力等	社会活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施	合計
開催回数 (回)	12	4	16
参加延人数 (人)	1,398	31	1,429



さくら会・いきいき百歳体操



星久喜町南部町会カフェ・ミニ講座

| 包括的・継続的ケアマネジメント業務について

中央区5センター合同で医療と介護の連携についての研修会、事例検討会の開催、中央区南部ブロックでは虐待対応研修、中央区主任ケアマネ連絡会の開催をした。中央区内の介護支援専門員への情報提供、資質向上に努めた。

地域のケアマネジャーへの個別支援、支援困難なケースへの対応としてケアマネジャーと共に考え、センター内、行政等連携しながら支援させていただいた。

| 認知症サポーター養成講座

「認知症になっても安心して暮らせる町」を目指し認知症サポーター養成講座の開催に積極的に取り組んだ。

開催月	開催場所	延べ参加人数 (人)
平成 28 年 4 月	ローゼンホーム仁戸名	15
平成 28 年 6 月	松ヶ丘中学校	118
平成 28 年 9 月	川戸中学校	62
平成 28 年 10 月	淑徳大学	47
平成 28 年 12 月	星久喜中学校	71
平成 29 年 1 月	淑徳大学	102
平成 29 年 1 月	松ヶ丘公民館クラブ連合会	50
合計		465



淑徳大学 認知症サポーター養成講座



中学校でのキッズサポーター養成講座

| 認知症ケアパスの作成と使い方講習会

認知症ケアパス・・・認知症かもと思った時や
認知症と診断を受けた時にどこに相談すればよいか
また、どのような制度が使えるかなどの情報をまとめたもの。

地域包括ケア推進課や他のあんしんケアセンター職員と共に
で作成した。

また、「認知症ケアパス」の使い方講習会を開催した。



| 運営推進会議への出席

事業者は自らが提供するサービスの内容等を明らかにすることにより、適正な事業運営に資するとともに、地域に開かれたサービスとすることでサービスの質の確保と向上を図ることを目的に運営推進会議が開催され、あんしんケアセンターは高齢者福祉及び地域福祉専門家としてのアドバイスを事業者及び参加者にさせていただいた。

サービス種類	事業所数	開催回数
認知症対応型共同生活介護	4	18
認知症対応型通所介護	1	2
地域密着型通所介護	4	6
小規模多機能型居宅介護	2	9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1
合計	12	36

7-7. 栄養

平成28年度は、多職種による会議・カンファレンス等をもとに生活全体を含めた栄養ケアマネジメントを実施し、栄養状態の改善・維持を目指した。体調不良者や嚥下不良者への対応は、ご家族様や他職種と情報を共有し、入居者様にとってより良いケアについて話し合い取り組んだ。

また、今年度は各ユニットで食事に関するレクリエーションを前年度より多く行うことができ、入居者様と楽しい時間を共有することができた。

今年度初めて淑徳大学看護栄養学部の臨地実習を引き受けた。次の未来に向けた人材育成に貢献できることに誇りをもち、学生が実習を通じより多くのことを学び、感じてもらえるよう指導を行った。

栄養管理状況

形態等	エネルギー (kcal)	タバク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (mg)	塩分相当量 (g)	カリウム (mg)	鉄 (mg)	VA (μm)	VC (gm)
常食(米飯)	1,650	65.0	44.0	248.0	8.3	650	7.0	700	100
常食(全粉)	1,500	59.3	40.0	225.4	8.3	650	7.0	700	100
食事摂取基準	1,650	63.0	45.0	248.0	8.3	650	7.0	700	100

食事摂取基準は日本人の食事摂取基準(2015年版)をもとに、淑徳共生苑特別養護老人ホームに入所されている利用者の年齢・性別・身体レベルから算定。

栄養摂取状況

月	エネルギー (kcal)	タバク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (mg)	塩分相当量 (g)	カリウム (mg)	鉄 (mg)	VA (μm)	VC (gm)
4月	1607	58.9	43.6	237.9	8.2	550	7.3	702	111
5月	1642	60.2	45.1	241.7	8.7	545	7.1	717	101
6月	1648	60.4	46.3	239	8.6	515	6.6	672	106
7月	1647	59.4	44.5	244.7	8.7	515	6.3	718	111
8月	1627	57.6	46	238.8	8.6	497	6	616	106
9月	1628	58.6	45.2	239	8.6	539	6.6	704	106
10月	1642	58.3	45.9	241.2	8.6	534	6.7	673	118
11月	1651	59.4	46.8	240.4	8.4	527	6.9	723	107
12月	1642	58.3	45.7	242.4	8.4	518	6.3	814	102
1月	1632	57.5	46.5	238.5	8.8	511	6.2	673	101
2月	1639	57	46.5	241.5	8.4	509	6.3	697	107
3月	1656	58.5	47.2	241.7	8.5	521	6.6	717	111
合計	19661	704.1	549.3	2886.8	102.5	6281	78.9	8426	1287
平均	1638	58.7	45.8	240.6	8.5	523	6.6	702	107

禁食一覧

主食類	魚・肉類	野菜・果物類	その他
・麺 7	・魚 1	・なす 2	・温泉卵 2
・そば 1	・鯛 1	・青菜 1	・とろろ 3
・ラーメン 1	・ほっけメルルーサ 1	・春菊・山菜・ 1	・ヨーグルト 2
・赤飯 2	・刺身 2	・レンコン・竹 1	・きのこ 1
・カレー 5	・肉 3	・の子 1	・ぎょうざ 1
	・納豆 9	・おくら 1	・りんご 1
		・根菜 3	
		・揚げ物	

行事献立実施状況

月	日	献立内容
毎月	25日	お誕生ケーキ
4月	12日	お楽しみランチ(新玉ねぎのかき揚げ・肉じゃが)
	22日	降誕会行事食(竹の子ごはん・魚の木の芽焼き・茶碗蒸し)
	28日	お楽しみランチ(春キャベツ入りメンチカツ・あさりと菜の花の卵とじ)
5月	11日	お楽しみランチ(カツ丼・しらす丼)
	13日	母の日行事食(太巻き・天ぷら・若竹煮)
	27日	お楽しみランチ(おろしハンバーグ・スペニッシュ)
6月	13日	千葉県民の日(鯵のさんが焼き)
	15日	お楽しみランチ(そら豆のかき揚げ丼・牛肉と豆腐の卵とじ)
	18日	父の日行事食(枝豆御飯・焼き鶏風・ぬた和え)
	28日	お楽しみランチ(タンドリーチキン・さば梅煮)
7月	7日	七夕行事食(そうめん・かき揚げ)
	8日	盂蘭盆会行事食(稻荷ずし・カレイの西京焼き)
	13日	お楽しみランチ(ゴーヤチャンプル・チキンソテー夏野菜ソース)
	30日	お楽しみランチ(うな丼・牛丼)
	31日	納涼祭(焼きそば・焼き鳥・フルーツゼリー)
9月	17日	敬老会行事食(赤飯・天ぷら盛り合わせ・かつおのたたき)
	26日	お楽しみランチ(南瓜のグラタン・秋鮭のムニエル)
10月	18日	お楽しみランチ(ビーフシチュー・鮭のクリームシチュー)
	28日	お楽しみランチ(ロールキャベツトマト煮込み・鯛の揚げおろし)
	31日	ハロウィン行事食(パンプキンスープ・チーズハンバーグ)
12月	2日	成道会行事食(まぐろの刺身・天ぷら盛り合わせ・茶碗蒸し)
	22日	クリスマスマニュ(エビピラフ・フライ2種・ケーキ)
	27日	もちつき
	31日	年越しそば
1月	1日	おせち(赤飯・おせち料理盛り合わせ)
	7日	七草粥
	10日	お楽しみランチ(呉汁・粕汁)

	26日	お楽しみランチ (サーモン漬け丼・カツ丼)
2月	3日	節分料理(いわしのフライ・五目煮豆)
	9日	お楽しみランチ (山かけ丼・木の葉丼)
	17日	涅槃会(太巻き・銀鮭の柚庵焼き・いちご)
	27日	お楽しみランチ(カレーうどん・天ぷらうどん)
3月	3日	桃の節句行事食(ちらし寿司・天ぷら・ようかん)
	28日	お楽しみランチ(春キャベツのメンチカツ・白身魚フライ)



桃の節句 (ちらし寿司)



昼食レク (巻き寿司)



昼食レク (ラーメン)

8. 各委員会・部会活動報告

各種委員会を設置し、他事業も含めた全職員が参加して、改善すべき課題について検討を重ね、必要に応じて内部研修等を行った。

入所判定委員会（隨時）

リスクマネジメント委員会（隨時）

感染症対策委員会（毎月第1火曜）

今年度も入居者のインフルエンザ・ノロウイルスの発生はなく、施設全体での感染症対策ができたことと、診療所でのインフルエンザワクチン接種の効果もあったのではないかと考えられる。更に、各職種の感染に対する意識も高くなつており、ユニットスタッフによる入居者一人ひとりへの気配り、観察、報告や体力をつけるための栄養評価（栄養士）、看護師による健康管理など、他職種連携があつたからこそ集団感染を予防することが出来たと思う。

インフルエンザ警報が2月に発令され、共生苑でも風邪症状の入居者が数名みられていた。検査の結果インフルエンザではなかったが、症状の入居者がいるユニットでの外出・外泊中止、行事への参加中止、他ユニットへの出入り検討等早期に会議を開き、具体的な対策を実施した。スタッフについても、マスク・手洗いはもちろん、勤務についての配慮や、体調報告等を徹底し、全職員に協力してもらった結果だと考える。

また、居室で長い時間過ごされる入居者を対象に湿度計を購入した。乾燥・高湿度のチェックをし、特に乾燥に対しての対応をユニットと連携して行った。

感染は、他にも疾患によるものや、外部からの原因により発生することがあるため、入居者が健康で安心できる生活が送れるように他職種との協力・相談をしながら早期対策・早期治療を実施することが出来た。

身体拘束廃止委員会（毎月第1水曜）

今年度は、リーダー・サブリーダー・他職種との連携を密になることで、苑として身体拘束の廃止を取り組んできた。入居者の退入所による入れ替わりがある中で昨年の3名から現在は1名と取り組むことができた。

取り組みは継続しており、各スタッフ間での検討、ご家族の気持ちへの対応など

行っている。引き続き身体拘束の解除までには至らないが、部分的（時間）な解除を実施して廃止に向けて取り組んでいる。

転倒抑止・徘徊察知目的のセンサー使用者は相変わらず多い状況で、昨年度から7名増加して30名となった。使用の解除となるケースもあるが、増加の原因は自立していた方が運動機能・認知機能の低下により居室内での転倒のリスクが高くなつたことと考えられる。引き続き下肢筋力低下が原因で、立位や歩行が不安定になり転倒するケースが後を絶たないことから、いち早く動きを察知し、事故を未然に防ぐ対応を行っている。

今後は苑全体としての取り組みを強化し、どのようにアプローチするかを検討する。またスタッフ皆が苑での身体拘束の現状と取り組みを認識できるように情報を共有化に努めていく。

事故防止委員会（リーダー会議内・随時）

各部署からのヒヤリハット・事故報告を基に、予防・対応策の検討を行った。

- ・ 今年度より、ヒヤリハット報告書の書式を整備した。ヒヤリハット報告について、記録する内容を簡略化し職員の記録にかかる負担を減らした。書式を簡略化することにより、より小さな気付きでも記録に残し、事故防止の情報として職員全員に周知徹底できるよう改善を行った。
- ・ 骨折を伴う事故が5件。居室内で一人の時間、ベッドからの起居動作であったりトイレ内での動作で転倒するケースが多く、死角となるスペース・時間帯の対応の難しさが伺える。巡視や見守りの仕方など確認方法を検討していく。
- ・ 転倒・転落等、相変わらず多い状況だが、誤薬などの人為的ミスも続いているので、その都度原因を調査し改善策を検討していく。
- ・ 居室内の動きを察知するためにセンサー等を使用する入居者が増えている。各ユニットともセンサーの台数が多い状況だが、事故防止のための過剰な対策は身体拘束に繋がることも憂慮し、生活・活動を損なわない安全確保を行っていく。身体拘束廃止委員会との情報共有・連携を図っていく。
- ・ 事故については委員会内で内容と対応・対策について報告し情報共有を行う。同様の事故を未然に防げるよう周知していく。ヒヤリハットの情報をユニット会議などで活用し、ユニット職員が同じ視点で事故防止に取り組めるようにしていく。小さな気付きでもそのまま見過ごすことのないよう、記録に残していく。

教育・研修委員会（毎月第1水曜）

- ・ 年度初めに施設長による「援助者としての姿勢」の研修会でスタートした。
- ・ 新任職員や現職員の技術面の再確認として恒例ではあるが基礎介護技術（食事・入浴・排泄・褥瘡・トランス）についてユニットリーダー・サブリーダーを講師として年回5回行った。
- ・ 必須研修の「食中毒について」、「事故防止対策について」、「感染症（インフルエンザ／ノロウイルス）」、「権利擁護／虐待について」、「身体拘束廃止について」など各部署・委員長による研修を実施した。
- ・ その他「喀痰／吸引について」、「看取りについて」、「苦情の対応について」など外部研修参加職員や専門分野の職員による講義も実施した。
- ・ 外部講師による「口腔ケア」、「高齢者に多い圧迫骨折等の対応法」、「ハンドタッチケア」、「オムツについて」、「水分補給や高齢者の栄養について」、「介護用品について」など幅広く職員が受講したいと希望する研修を取り入れ実施した結果、全体的には多くの職員に高齢者福祉施設に勤務するための必要な基礎的知識・技術の習熟を図ることができたのではないかと思われる。
- ・ 当苑をスタートとする職員から他施設の運営状況を知りたいとの希望もあり四街道での他施設見学研修を2回実施した。
- ・ 年度末に参加回数を集計し上位者を表彰することにより、さらなる研修への関心や向上心など参加意欲に繋がるように努めた。

給食委員会（毎月第4水曜）

日々の給食についての反省点や検討事項などを協議することを目的に、毎月1回委員会を開催した。それぞれの職種や厨房職員が意見交換を行い食事に関する情報交換や共有を図り、レクレーションや献立の企画を目指した。今年度もセレクト食を行い、月2回食事を選んでいただく機会を設けた。また、麺料理のリクエストが多い為、セレクト食のかわりに週1回麺料理を提供する月も設定した。次年度も引き続き、利用者のリクエストを取り入れた食事や季節感のある献立作成に取り組んでいく。

排泄、褥瘡委員会（毎月第1水曜）

現在、施設において褥瘡のある入居者は1名で、悪化もなく少しづつではあるが改善に向かっている状況である。診療所医師や、淑徳大学の褥瘡専門の先生にも月1回、相談やアドバイスをいただき治療に取り組んできた。

その他の皮膚のトラブルについては、褥瘡のリスクがあるかその他の原因によるものかの評価をし、対応の方法をそれぞれに検討していった。重症化による臥床時間の長期化に対しては、ベッド上での耐圧測定やマットの評価を行い、褥瘡リスクとなる原因の除去に努めた。また、ユニットスタッフとの連携により、情報交換・処置の協力体制などを円滑に行っていった。

皮膚トラブルの中で特に多いのが、便の回数や症状(下痢)によるただれが原因となり、表皮剥離となるケースであった。医師相談の上、便コントロールを積極的に行い、併せて適切な軟膏などの処置を早期に始めることで悪化を予防していくことができた。

排泄委員会でもオムツ・パットの定期的な見直し等に取り組んでいる。肌に優しく吸収率の高いものを使用することにより皮膚へのトラブルはだいぶ良い方向にむかったと思う。

更に排泄パターンのアセスメントや下剤に頼らない排便コントロールについてもお互いに相談し合い、統一したケアに繋げることが出来た。

行事委員会（毎月第1水曜）

今年度も年4回の宗教行事を中心に、季節毎に恒例となった行事を滞りなく開催することができた。宗教行事と合わせて披露されるアトラクションも地域のボランティアの方々が様々な披露をしてくださった。春のお花見に始まる共生苑の年間行事は、大巌寺の桜を見て巡り、夏の一大イベントである納涼祭は天候にも恵まれ、当日プログラムに一部変更があったものの盛大に開催することができた。今年度もグラウンドでのステージ開催であったが、入居者との距離も近くとても有意義な時間であった。秋には敬老会、年末には恒例の餅つき会が行われ、今年度の餅つき会は、おゆみホールでの餅つきとなり新年を迎える準備を入居者の方々とご家族様を交えて皆様で楽しむことができた。

大きな行事だけでなく、毎月の書道クラブや法話会を行う上で、実習生や家族会の皆様、地域ボランティアの皆様の協力が欠かせない存在となっており、誘導や見守りのお手伝いや、会場の設営などにもご協力いただいている。

今後もボランティアの方々、ご家族、また地域の皆様の協力を得て、入居者のQOL向上を目指し楽しい行事を企画・実施し、来年度は、開苑10周年の記念行事に向けてさらなる企画・運営をしていきたい。



降誕会



納涼祭



広報委員会（毎月第2火曜）

第33号を5月、34号を8月、35号を11月、36号を2月に発行した。発行時期を昨年度とずらし、内容に変化をつけている。苑内行事の写真撮影、ポスター掲示も例年通り行った。

リーダー会議（毎月第1水曜）

毎月、月初め、月末と各ユニットのリーダー・サブリーダーと各職種で、ケアの見直しや苑全体としての情報共有、各職種との意見交換を行った。

次年度はリーダー・サブリーダーそれぞれが、リーダーとしての自覚・役割の認識を強く持てるようにする。また引き続き、働きやすい職場となるように、業務の見直し等を行っていく。

記録部会（毎月リーダー会議時に実施）

記録の見直しを行い、記録の意味・書き方について原点にかえり実施した。必要時に書類整理として、物品購入を行い作業室の整理整頓を実施した。

次年度も記録がケアに必要な記録となっているか、介護日誌とケア日誌の書き方や記録用紙などの見直しを行っていく。

リネン部会（毎月リーダー会議時に実施）

リネン業者の変更にあたり、「納品・受け取りの見直し」「B1 倉庫管理の見直し」「各部署必要な枚数の見直し」を実施した。掛け布団の年次交換も適切な時に実施することができた。またコスト削減への意識は、次年度以降も課題といえる。

入浴部会（毎月リーダー会議時に実施）

特浴・チア一浴・4階個浴など、長年使用していることから故障や破損が目立つ1年となった。随時、修理・交換を行い、入居者様が快適に入浴できるように努めた。今後も、入浴環境の故障や不備に関する報告連絡の徹底を図りたい。

季節によって菖蒲湯・柚子湯など入居者様に入浴を楽しんでもらえた。

レク部会（毎月リーダー会議時に実施）

今年度は合同レクの活動にて、今までより多く外出や外気に触れる機会を持つことができた。他職種の協力のもとまたユニット合同で、サイフォンを利用して居酒屋などのレクリエーションを行い入居者様にとって良い時間を提供できた。次年度も利用者のニーズに沿えるように対応していきたい。



居酒屋



イチゴ狩り

9. 防災対策報告

消防訓練については、例年通り各部署ごとに初期消火訓練・通報訓練・避難誘導訓練を中心に行った。震災から6年が経過し、地域の防災拠点として重要な役割も担っていくため、あんしんケアセンターと各福祉事業所を中心に自治会・社協等地域組織と連携し、非常時に機能するよう備えを検討していく必要がある。生浜地区地域福祉連携会議を通じ、地域における防災と見守り支援の在り方について意見交換を重ねていく。

防災実績

月	時間	訓練	内容
毎月 1回	適宜	消防用設備自主点検	1. 消火器 2. 消火栓 3. スプリンクラー 4. 自動火災報知機 5. 放送設備 6. 非常ベル 7. 誘導灯 8. 建物等の自主検査
9月 13日 2月 10日	定期	消防設備法定点検 の実施	1. 消火器 2. スプリンクラー 3. 自動火災報知機 4. 消防署通報システム（非常通報電話） 5. 非常警報器具及び設備 6. 誘導灯及び誘導標識 7. 非常発電設備など
7月 21日	15:00 ～ 15:20	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
7月 26日	14:00 ～ 14:20	総合訓練（夜間想定）	4階ユニットにおいて、夜間における火災時の役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
10月 15日	14:20 ～ 14:40	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
11月 21日	15:00 ～ 15:20	総合訓練	2階ユニットにおいて、火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
2月 23日	14:20 ～ 14:40	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
3月 28日	15:00 ～ 15:20	総合訓練（地震想定）	2階ユニットにおいて、大規模地震を想定した火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。

10. 法話会活動報告

参加者数が平均 37 名、多い時には 45 名を超え、入居者にとっても楽しみな行事のひとつとなってきた。時事にからめた講話や頭の体操・歌など、内容も多岐にわたり、講師方とのふれあいの機会を楽しみにしている方も多い。また、参加するボランティア・実習生などにも貴重な学びの場となっている。

時間・場所 毎週金曜日 10:00～11:00 (60 分) 4 階 月影堂

参加者 講師 9 名による当番制で 2～3 名、入居者 25～36 名、
家族、ボランティア 4～6 名、実習生、職員 2～5 名

法話会実施状況

月	日付	入居者人数	家族人数	ボランティア	職員人数	実習生人数	講師人数	人數計	主な内容
4月	1 日	31	0	5	7	0	1	44	体操、紙芝居、季節の歌
	8 日	30	0	5	4	0	1	40	静岡「有東木」へ行った話、歌「春が来た」
	22 日	-	-	-	-	-	-	-	降誕会
5月	6 日	30	0	0	2	0	2	34	追悼文、漢字クイズ、金子みすゞの詩
	13 日	30	1	5	3	0	2	41	新聞の投書より、紙芝居、歌「茶摘み」 家で飼っている猫の話、御詠歌 2 曲
	20 日	27	1	5	5	0	1	38	「銚子大漁節」披露、中国大使視察について、歌
	27 日	29	1	5	3	1	3	42	中国大使視察について、昨今の運動会事情、歌 熊本地震ボランティアの話
6月	3 日	35	0	5	3	0	1	44	おせがき、衣替えについての話、歌
	10 日	32	1	5	3	0	1	42	体操、紙芝居、歌、童話「カッパの約束」、御詠歌
	24 日	29	1	5	3	1	3	42	追悼文、丹羽長重についての話、日本の誇りと自然 中国からいらした僧侶の方の紹介
7月	1 日	28	0	4	2	1	2	37	桂歌丸の言葉「修業は一生に及びます」について 一休禅師のエピソード、お袈裟についての豆知識
	8 日	-	-	-	-	-	-	-	盂蘭盆会

月	日付	入居者人数	家族人数	ボランティア	職員人数	実習生人数	講師人数	人數計	主な内容
	22 日	26	0	5	2	0	1	34	追悼文、死の縁・無量についての話、歌「村祭」
	29 日	36	0	4	2	0	1	43	難読漢字、「合掌」について
8月	5 日	27	0	5	3	4	1	40	納涼祭について、歌「花火」「われは海の子」
	26 日	30	0	5	4	0	2	41	難読漢字、「極楽世界と娑婆のちがい」「捨ててこそ」
9月	2 日	32	1	5	2	0	3	43	追悼文、紙芝居、月・太陽・雷の小咄、御詠歌
	9 日	35	0	5	3	0	2	45	お彼岸について、努力のしかたについての話 歌「ちいさい秋みつけた」 仏教聖歌「いまささぐ」
	16 日	32	1	4	2	0	1	40	90歳以上の入居者様の紹介、歌
	30 日	37	1	4	2	0	2	46	オリンピックの話、お彼岸の話、ツイッターの話題
10月	7 日	38	0	5	3	0	2	48	新聞の投書より「どう考えたら 新幹線での三景」
	21 日	31	0	4	3	0	3	41	追悼文、御朱印の話、歌「ちいさい秋みつけた」
	28 日	29	1	5	2	0	1	38	間違い熟語漢字、「豚がいた教室」から共生について 「老い支度」について
11月	4 日	34	0	5	5	0	1	44	大巣寺に宝物殿が建てられた話、歌「たき火」「里の秋」
	11 日	32	0	4	4	0	1	41	「月」について、スーパームーンが近いこと、歌
	18 日	32	0	5	3	0	2	42	33年に一度の念佛踊りのお話、観音様のご縁の日 歌「まつぼっくり」など、御詠歌
	25 日	30	1	5	3	0	1	40	青森・函館に研修へ行った話、歌
12月	2 日	-	-	-	-	-	-	-	成道会
	9 34	30	0	4	5	0	1	44	看護栄養学部学生の川柳紹介、歌
	16 日	30	0	5	5	0	2	42	「老いの日々の養生」について、鳥にちなんだお話
1月	13 日	34	0	5	5	0	2	46	紙芝居、歌「雪やこんこ」「めでたい正月」の話、御詠歌
	20 日	31	1	4	5	0	1	42	追悼文、意にならないもの「老病死滅尽」のお話

月	日付	入居者人数	家族人数	ボランティア	職員人数	実習生人数	講師人数	人數計	主な内容
	27 日	34	0	5	3	0	2	40	年末の過ごし方のお話、餅つき・除夜の鐘について、歌
2月	3 日	27	1	5	4	1	2	40	冬の天気「もったいない天気」、節分の話、御詠歌
	10 日	23	4	5	4	0	1	36	共生苑開設より入居されている方の紹介 10年前の出来事、歌
	17 日	-	-	-	-	-	-	-	涅槃会
	24 日	33	0	4	2	0	2	41	除夜の鐘・夜回りが苦情により中止となる話 ナンバープレース、歌「遙かな夜に」「どこかで春が」
3月	3 日	24	1	4	4	1	2	36	震災ボランティアに行かれたお話、ひなまつりのお話
	10 日	30	0	5	3	1	1	40	東日本大震災から 6 年目、体操、紙芝居、歌
	31 日	25	0	5	4	1	2	37	長生きの秘訣、「涙で燭火を消すな」、難読漢字
合計		1,103	17	165	122	11	59	1,477	



盂蘭盆会



成道会

11. ボランティア受入報告

今年度も定期的なボランティアのほか、行事のボランティアなど、多くの個人やグループ、地域のご協力をいただくことができた。

日程	活動内容	活動場所、イベント	所属（グループ名）	人数
毎週月	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週火	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週水	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週水	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週木	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週金	喫茶の運営、勤行の見守り	喫茶サイホオン	—	2名
不定期・継続	車椅子の修繕、点検	特養ユニット・デイ	—	1名
第1.3月曜	書道	特養ユニット	コスモス会	2名
第1.3月曜	書道の見守り・誘導	特養ユニット	—	1名
不定期・継続	華道	デイ	—	1名
不定期・継続	書道	デイ	—	1名
毎週金曜	勤行の誘導・見守り等	勤行	—	5名
隔週木曜	傾聴	特養ユニット	—	1名
隔週金	歌の演奏・合唱	特養ユニット	ひろの会	1名
4月9日	歌の披露	デイ	この町ファーザーズ	4名
4月14日	日本舞踊・フラダンス	特養ユニット・デイ	生浜地区生実町みつる会	7名
4月22日	詩吟の披露	降誕会	紫州流日本明吟会 千葉支部	7名
5月8日	大正琴	特養ユニット・デイ	なでしこの会	5名
5月19日、2月21日	車椅子清掃	郵政労組奉仕活動	J P労組	15名、18名
5月21日	和太鼓	特養ユニット	天父報恩鼓	6名
6月14日	カラオケ披露	デイ	シルバームーン	3名
7月1日	南米音楽	特養ユニット・デイ	フォルクローレ 同好会風雅	7名
7月8日	日本舞踊	盂蘭盆会	生実町町内会	6名
7月31日	子供型参加ゲーム	納涼祭	ゼロファイターズ	10名
7月31日	和太鼓	納涼祭	紅嶽太鼓	8名
7月31日	盆踊り	納涼祭	葉月会	20名～
7月31日	盆踊り	納涼祭	紅獄太鼓	8名
7月31日	見守り	納涼祭	淑徳大生	8名
9月17日	和太鼓	敬老会	蘇我太鼓	10名

12月 2日	日本舞踊	成道会	角栄舞踊会	6名
12月 22日	トーンチャイム	クリスマス会	結	27名
12月 25日	餅つき	餅つき大会	ご家族等	4名
1月 12日	ニューイヤーコンサート	コンサート	淑徳大学 看護栄養学部生	50名～
2月 17日	日本舞踊	涅槃会	角栄舞踊会	6名
				約 260名

| 喫茶サイホン実施状況

月	稼動日	コーヒー	紅茶	梅昆布茶	ココア	緑茶	季節茶	合計
4月	19日	255	7	42	40	10	36	390
5月	18日	234	2	38	45	6	15	340
6月	21日	316	4	30	30	18	71	469
7月	19日	280	3	80	41	19	0	423
8月	12日	169	10	79	44	5	0	307
9月	17日	276	1	74	20	26	0	397
10月	17日	291	8	56	39	16	45	455
11月	19日	307	4	97	42	16	36	502
12月	15日	277	7	68	30	11	42	435
1月	16日	255	5	59	58	11	36	424
2月	20日	283	12	64	17	10	0	386
3月	20日	243	8	70	30	8	0	359
計	213日	3,186	71	757	436	156	281	4,887



書道クラブ



誕生日会での詩吟披露



納涼祭での和太鼓披露



喫茶サイホン

12. 家族会報告

発会から6年目となり、年2回の清掃奉仕、敬老会、もちつき大会の共催には毎回多数の家族の協力が得られた。定例となった共生苑への寄贈・提供については、焼き芋機を提供し、苑内の食事レクリエーションや、家族会行事に利用するなど入居者に好評だった。

その他、平成28年度は以下のように運営された。

活動内容

頻度・日時	内容
5月29日	第一回役員会・清掃奉仕・総会・懇談会
9月17日	敬老会に紅白饅頭を提供
12月4日	第二回清掃奉仕・懇談会
12月27日	もちつき大会
随時	共生苑職員へ祝い金支給、ポロシャツ支給
随時	退所者へ香典、餞別支給



家族会総会



懇談会



焼き芋機

